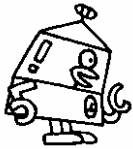


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

日光がなくても、花はさくの



日光がないと、植物はかれてしまうよ。でも、つぼみまで育ったものを暗い所に置いたら、花がさくものはあるよ。

光を感じて、花を開く植物は多い

雨の日や、くもった日には、花びらをとじたままで花がさかない植物は多いものです。花がどんなときさくかは、花の種類がちがいや、気温、温度の変化、光の強さなどのほかにもいろいろな条件じょうけんがあって、とても複雑ふくざつです。

つぼみが、日光などの光を感じとって、朝日が出ると花がさくタンポポなどは、昼間もうす暗い日は、花をとじてさきません。だから、日光がないとさかない花に入るでしょう。

チューリップは、温度が上がると、花がさく植物です。夜の暗い電気の下でも、ストーブなどをつけて室内の温度が上がってくると、花が開きます。

アサガオの花は、つぼみを暗い所に置いても、花がさきます。

日光がない暗い時間をすごさないと、花がさかないものもある

アサガオの花は、気温が低くなると、花が開く時刻じこくが早まり、明け方の2～3時には花がさくこともあります。また、アサガオのつぼみは、暗い所に置いておくと、毎日、ほぼ決まった時刻に花がさきます。ところが、いつも明るい場所に置いておくと、花はさきません。暗い時間を何時間かすごさないと、花がさかないのです。

夕方花を開きはじめて、夜さくオオマツヨイグサなどは、光が弱くならないと、花がさきません。だから、強い光が当たっていると、さく時刻がおそくなります。

日光がない所に長い間置かれた植物は、栄養をつくることができないので、弱ってきて、やがてかれてしまいます。花をつけることもできません。

もっと知りたい人へ：「花がさく時刻は、決まっているの」も見てみよう。